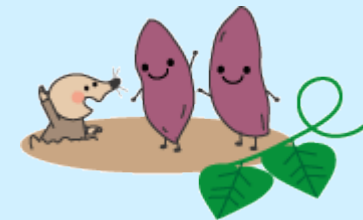




あかね文庫お話しの会 おひさまだより



子どもの頃好きだった絵本

“看護師さんにききました 2”

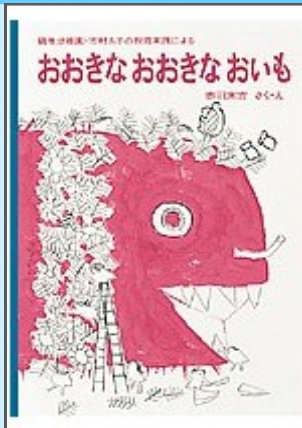
☀️・Aさん 『ぐりとぐら』と『はらぺこ

あおむし』:カラフルな絵とおはなしがおもしろく、読んでもらった後で親と一緒にホットケーキを作りました。

☀️・Bさん 『おおきなおおきな おいも』:文字は少なく、ほとんど絵ばかりで、本全体のページでひとつのおいもになっているようでとてもたのしかったです。

☀️・Cさん 『ぐりとぐら』や『若草物語』など:絵本は母に読んでもらい、学校では図書館から借りて、いろいろな場面を想像しながら楽しみました。とにかく本が好きで、一日中本に夢中でした。

☀️・Dさん 『石の花』・『しずくのぼうけん』(かな?) :おじさんに買ってもらいました。水の話は科学的な内容でしたが、印象深い絵本でした。



えほんの紹介

『おおきなおおきな
おいも』市村久子/原
案 赤羽末吉/さく・え
福音館書店 : あおぞら
幼稚園のいもほり遠足が雨

で延期になり、こどもたちはがっかりです。そこでみんなで紙におおきなおいもの絵を描きました。おいもはどんどんどんどん大きくなり、次々と紙をつないで描き、とうとう超特大のおいものでき上がり! さあ、それからおいもを掘り出して、ヘリコプターで園に運び、ごしごし洗ってプールに浮かべて船にしたり、おつぎはおいもパーティー。食べた後はみんなのおならで空を飛んで宇宙へ……。幼稚園で実際に遊んだのを基にしたお話しで、子どもたちの想像のエネルギーがどんどん膨らんでいくゆかいな絵本です。

2012年10月 第5号

小さなおともだち やさしいね!

Mちゃんのお気に入りの絵本は『つんつくせんせい』シリーズです。

ある日のこと、いつものように『つんつくせんせい どうぶつえんにいく』を読んでもMちゃん元気ありません。どうしたのかな? とママに聞くと「ともだちのYくんが検査にいったのでとても心配なの」とのこと。そこへYくんが帰ってきました。とたんにMちゃんの顔がほころび、すぐにママと手をつないでYくんに声をかけにいきました。よかったね、Mちゃん!